



191名の新生(79期生)が入学、高校生活のスタート!

4月7日(火)に令和8年度の入学式が開催され、新生・保護者・職員参加の下、191名の入学を祝いました(残念ながら在校生は参加できませんでしたが) 午前中激しく雨が降るあいにくの空模様でしたが、式の時点では雨も上がり無事に終えることができました。79期新生を代表して食品加工科の日野心春さんが「入試の時は不安しかなかったけど、今日からの高校生活を仲間と助け合いながら、勉強も実習も頑張ります」との力強い言葉を述べてくれて、校長として頼もしく思いました。安谷屋PTA会長(代読)からは「高校3年間を無駄にせず、心がけを大事に」との祝辞が贈られました。入学式の後には、HR担任の紹介及び各学科職員との顔合わせ等があり今後いろいろと悩むこともあると思いますが、皆で力を合わせてそれぞれの「夢」の実現に向けて頑張っていこうと気持ちを新たにしました入学式でした。頑張れ新生!



力強い「誓いの言葉」



保護者にも説明中!

新生オリエンテーションの様子

入学式が行われた翌日の4/8(水)に新生を対象としたオリエンテーションを行いました。高校での過ごし方を学ぶことを主な目的に農業クラブとは何か、人間関係づくりの講話や学校施設の案内など盛りだくさんの内容でした。私も最初に話をさせてもらいましたが、新生の「聞く態度」が大変素晴らしく(緊張もあったと思いますが?)思わずしゃべりすぎてしまいました。人間関係づくりの講話では、ビジネスマナー講師の國吉雅先生をお招きして、アサーティブの意味や「クッション言葉」など新しい人間関係を作っていくときに心がけたい態度を教えてくださいました。相手と話すときの順番として事実を伝え、自分の気持ち・要求を伝えるようにするとトラブルになる可能性を減らすことができると仰っていました。なるほどと納得し、私も南農生や先生方と話すときはこのことを意識していこうと改めて思いました。新生にとって高校生活のスタートにあたりいい研修になったのではないのでしょうか。



聞く態度も素晴らしく身なりも上等でした。



南農には5つの学科とそこで学ぶ526名の生徒、そしてその生徒を支える職員が約90名います。次回から5回に分けてそれぞれの学科を紹介していきますので高校進学のためのヒントの一つとして活用して下さい。

今年も「南風(みなみかぜ)」を発行していきます、皆さん読んで下さいね!

この「南風」第1号を読んでもらった皆さん、初めまして。南部農林高等学校(通称、南農)校長の中村幸弘と申します。今年で勤務2年目を迎え、昨年に引き続き中学生をはじめ多くの方々に向けて南農の事を知ってもらおうと「南風」を発行していきます。タイトルには「南農から風を起す」という意味を込めています。できる限り本校の理解に繋がるよう、そして中学生の皆さんには高校進学の際には南農を選択してくれるとうれしいなという気持ちで発行していきますのでよろしくお願いします。

4月に入りいよいよ令和8年度がスタートしました。各学校や会社でも新生を迎え新しい風が吹いていることでしょう。南農でも4/7の入学式の前に就任式・始業式が行われ、新たに26名の新任職員を迎えて学校生活が始まりました。今年も本校が沖縄県学校農業クラブ連盟の事務局を担当(農業クラブのことは、後日説明します)することになり、南農生には大きく成長する機会が待っています。事務局の担当は2年間ですので、来年中学生の皆さんが本校に入学する頃には担当校ではなくなってしまうかもしれませんが、「農業クラブ活動」を通していろいろな経験ができると思います、期待して待っていて下さい。

私は入学式のあいさつで新生に心にとめて欲しい3つのことを伝えました。それは①南農で成長しよう ②信頼関係を築くためにも「約束」を守ろう ③自律した南農生になろうの3つです。南農での学習や行事等を経験することでこの3つの力が必ず身に付き、それをサポートしてくれる先生方がたくさんいます。この「南風」を通して南農の高校ライフを皆さんにお伝えしていきますので、是非教室に掲示されたときは見て下さいね!各中学校の先生方もご協力をお願いします!

今年の南農 最大の行事は... 学園祭(10/10(土))です!